収蔵資料展

渡邉錠太郎と杉並

―区指定文化財「渡邉錠太郎関係資料」「柳井平八関係資料」から―


渡邉錠太郎と次女・和子（自宅の庭で）　昭和10年（1935）頃


渡邉錠太郎軍帽



ドイツ留学時の射撃大会優勝額


二・二六事件を知らせる電報　昭和11年（1936）


二・二六事件時の弾痕が残る籃胎漆器座卓


家族と自宅居間の前庭で　昭和初期

令和8年（2026）
12月12日(土)～

令和9年（2027）
2月14日(日)

- 会　　場：杉並区立郷土博物館本館 特別展示室
- 開館時間：午前９時～午後５時
- 休 館 日：毎週月曜日・毎月第３木曜日（※祝日・休日の場合は開館、翌平日休館）・年末年始（12/28～1/4）
- 観 覧 料：100円（中学生以下・障害者手帳等を提示する方及びその付き添いの方は無料、20名以上の団体1名80円）

杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum

杉並区立
郷土博物館HP▶

収蔵資料展

渡邉錠太郎と杉並

― 区指定文化財「渡邉錠太郎関係資料」「柳井平八関係資料」から ―

渡邉錠太郎（わたなべじょうたろう）は明治７年（1874）、愛知県東春日井郡小牧村（現・小牧市）の煙草製造業を営む和田家に生まれ、幼少期に母方の渡邉家の養子となりました。この頃から読書家、勤勉家として知られ、難関であった陸軍士官学校、陸軍大学校へ進んだのちは、陸軍幹部として要職を歴任しました。軍人となった後も給与の大半を書籍購入に費やし、周囲からは“文学博士”“学者将軍”などと呼ばれていました。また第一次世界大戦末期から終戦直後にかけてヨーロッパに赴任した際、敗戦国のみならず戦勝国も窮乏する情勢を目の当たりにしたことで「非戦論」を唱えたことでも知られています。

昭和10年（1935）に「陸軍三長官」の１つである教育総監に就任しますが、翌年に発生した二・二六事件において、家族と暮らしていた荻窪の自宅で襲撃を受けました。

関係者より当館が寄贈を受けた渡邉錠太郎関係資料は、平成22年（2010）と令和６年（2024）に区有形文化財に指定されました。また、阿佐ヶ谷に居を構え、渡邉の自宅を設計した陸軍技師・柳井平八（やないへいはち）にまつわる資料も当館に寄贈されており、同じく区有形文化財に指定されています。

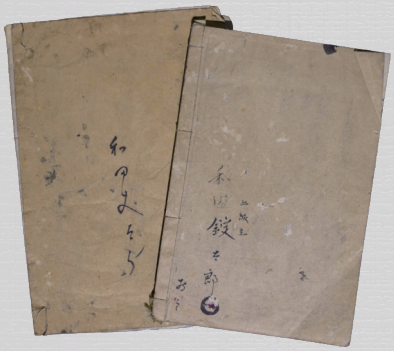
本展では、杉並区にゆかりのある人物として、渡邉錠太郎と、その邸宅の設計に関わった柳井平八について、文化財指定を受けた当館収蔵資料を中心に紹介します。



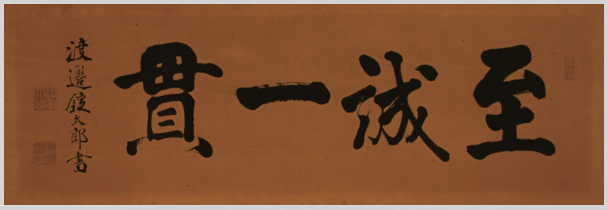
渡邉錠太郎



渡邉錠太郎と次女・和子



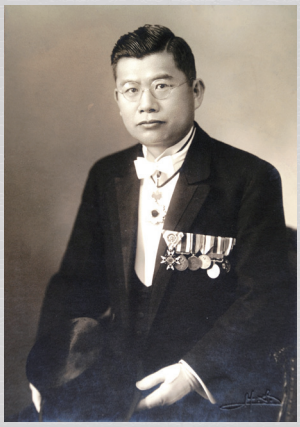
少年時代に読んでいた参考書　明治10年代



渡邉錠太郎筆「至誠一貫」扁額



解体直前の渡邉錠太郎邸　平成20年（2008）



柳井平八

関　連　イ　ベ　ン　ト

学芸員による展示解説

令和９年（2027）

1月17日㈰、2月7日㈰

展示会場にて午後２時～　申込不要

杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum

〒168-0061　東京都杉並区大宮 1-20-8
電話：03-3317-0841

▶京王井の頭線「永福町」駅北口から徒歩15分、又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩５分
▶JR中央線「高円寺」駅・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅から「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩５分　▶東京メトロ丸ノ内線「方南町」駅１番出口から徒歩20分

【開館時間】午前9時～午後5時
【休　館　日】毎週月曜日・毎月第3木曜日（※祝日・休日の場合は開館、翌平日休館）
年末年始（12/28～1/4）
【観　覧　料】100円（中学生以下・障害者手帳等を提示する方及びその付き添いの方は無料、20名以上の団体１名80円）

杉並区デジタルアーカイブ▶

